

社会福祉法人 清水あすなろ福祉会
平成28年度 風の子保育園 事業報告

今年度、40周年にむけて未来検討委員会を立ち上げました。これは、40周年について話し合うためだけではなく、中堅職員として求められること（理事長を交えて）、保育情勢と待機児童問題、保護者アンケートについて、育児短時間制度、給与変更(就業規則の変更)等について話し合い、風の子の未来について考える場でもありました。新制度2年目の年、保育士の処遇改善について行政から求められてきたこともあり、育児短時間制度や処遇改善のための給与規定変更については、かなり時間を費やしてきました。他、この1年を振り返り問題点を整理し次につなげていきたいと考えています。(別紙参照)(民主的な運営より)

① 40周年にむけて企画の提案。

40周年にむけて、未来検討委員会を立ち上げました。具体的な提案にまで、至っていませんが、こんな思いでこんな形式でという意見がでています。

② 園長・副園長・主任が指導的立場に入り、実践を積み重ねていく

乳児…担当が書く子どもの姿、クラス主任が立てる保育の取り組み、丁寧に書くことで徐々に統一されてきました。乳児保育の接点は「発達の理解」です。子どもに合わせた丁寧な言葉かけや関わりは継続して追究したいと思います。

幼児…行事を進めていくなかで子どもの状態にあわせて準備を計画的にすることが課題。

幼児保育の中で課業の計画が行事中心となっているので週計画の中に入れていきたい。

クラス会議もきちんと行えるようにしていきたい。

給食…前年度のメニューが確立されていなかったのでレシピを確立することが課題。

事務仕事については給食の中で、整理して分担していく。

③ 情勢部会として情勢について学び職員・保護者にわかりやすく伝え学習しあう。

情勢部会として「情勢だより」を年7回発行。今年度、静岡市で保育の集い開催。(実行委員会に参加。)署名学習会ではポイントと劇で署名項目について保護者に伝え、職員会議で石原先生より公立園民営化・統廃合問題について学習しました。

④ 研修について

幼児体操教室、わらべうた研修(乳児)の他に乳幼児研修・乳幼児教育研修・東海子ども文化セミナー・保育プラザ研修(3.4.5歳児の発達と生活・遊び)給食研修に参加してきました。歳児ごとに学びたい研修を選び、職員の共通理解と今後の保育への共通理解になるよう同じ研修で学んできました。研修で学んだことをそれぞれが引き寄せ、意識を高め日々の保育実践にいかしているように思います。園内学習会として静大の香野先生から言葉の発達差、個人差について学びました。

<保護者の意見・要望>

特にありませんでした。